

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅲ		講義・演習	小林 正明	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
理学療法を行うにあたり日々の病態変化を把握する事は重要である。 本科目では理学療法評価の意義、主に呼吸・循環器系のフィジカルアセスメント・測定技法について学修する。 各種検査データの解釈や酸塩基平衡について学修する。				
授業の到達目標				
1. バイタルサイン(呼吸、脈拍、呼吸数など)が確認できる 2. 医療面接のポイントを理解でき、説明できる 3. 呼吸循環器系疾患に対する基本的な評価方法について説明、実施することができる 4. 血液データや呼吸機能検査の結果を解釈できる				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション、評価の意義			
2	問診、バイタルチェックの意義、運動中止基準			
3	体温・脈拍測定			
4	血圧測定の実技①			
5	血圧測定の実技②			
6	血圧測定の実技テスト			
7	循環器疾患の概要とフィジカルアセスメント			
8	心臓の解剖学的位置・心音聴診・心電図の基礎			
9	心電図の基礎・運動耐容能・運動負荷試験			
10	呼吸器疾患の概要とフィジカルアセスメント			
11	体表と肺の位置関係について			
12	呼吸数の計測・打診の実施			
13	打診・聴診(呼吸器系)の実施			
14	呼吸機能検査(スパイログラム、フローボリューム曲線について)の見方			
15	血液ガスデータ、酸塩基平衡の見方			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	筆記試験(70%) 血圧測定の実技テスト(30%)		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版		内山靖 編	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
リハビリテーション運動生理学		玉木彰・解良武士	メジカルビュー社	
自由記載				
備考				